

陽気だより

養徳社 検索

ホームページからご覧いただけます

No. 48 2011.3.15

第5号(24年9月号)から

「陽気」は、昭和24年4月の創刊、今年で62年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。



その通り

若き夫「あなたは赤ん坊のことは大変詳しいとおっしゃいましたね」

乳母志願者「はあ、あの、私自身も一度だけ赤ん坊の時の経験がございますので」

楽しみ

新妻「私のこの美しさとあなたの偉大な才能を持って生れる坊やの事を考えると、とても素晴らしいわ」

夫(冷たく)「しかし、僕のマズイ面とおまえの空っぽの頭脳を持って生れたら……?」

無理もない

「赤ん坊はどうして、あんなに絶えずギャアギャア泣くんだらう?」

「そりゃ、泣きでもしなきゃ、時間がもてんよ」

既にして

新聞を見ていた妻「珍しい話が出るわ、赤ちゃんが生後七カ月で歩き出したんですって」

夫「フム、よっぽど退屈だったと見えるね」
なるほど
君ンとこの赤ちゃんはもう喋るのかね?
いや、この頃は黙らすことを教えてるんだ。

これはしたり

「あなたは子どもが嘘をつくんでお困りになることがおありでしょう?」

「それより、つまらん時に、本当のことを喋られるんですりますよ」

この父にして

父親「この子のケチは一体誰に似たんだらう。まさか親譲りじゃあるまいな」

母親「勿論! あなたが何一つこの子に譲るものですか」

半生

「私は二十歳の時、金持ちになろうと決心した。

一向ならないじゃないか。
——ウン、金持ちになるより、決心を変える方が易しかった。

そして

見知らぬ人「この辺に、山田さんって人知らんかね、どこへ行けば分かるかね?」

土地の男「向うの橋を渡ればすぐ分かりますよ」
見知らぬ人「あれは墓地じゃないか」
土地の男「左様。もう、死んでますよ」



二十の扉 昭和22年11月から昭和35年4月まで毎週土曜日の午後7時半から30分間、NHKラジオ第1放送で放送されたクイズ番組。左より 関屋五十二(俳優) 柴田早苗(森早苗・女優) 塙(はなわ) 長一郎(映画監督) 宮田重雄(医師・画家) 大下宇陀児(おおした・うだる)(探偵小説作家)



信仰例話 (道友社刊『真実の道』より)

明日は癒ります

昭和六年のこと。

竹田鉢平氏は妻の信仰には別に反対もなかった。しかし、自分の商売が骨董品を売るのであるから、おみちの話を書いてそのまま実行していたら、商売は出来ぬと考え、信仰はしなかった。

たまたま十月十七日、秋の御大祭に参拝しようと教会では大童(おおむすこ)に勇んでいられる時である。竹田氏夫妻がそれこそ目に入れても痛くないほど可愛がっていた子供が病気にかかってしまった。医者よ、薬よ、と八方手を尽くしてみたがどうにも助かりそうにない。

前にして言った。

「明日は癒りますよ。しかしそれには、おぢば帰りの心定めをしなければいけませんよ」

竹田氏は大いに立腹してしまった。

——人を馬鹿にしている、自分たち夫婦のおぢば帰りでの重病人が癒ってたまるものか——と思った。

だが——若し明日癒らなかつたならば、天理教に反対してやろう、又妻がそれでもおぢばへ行くというのなら早速離縁してくれよう——と肚(はら)の中で決めた。そして先生には「その心定めをさせて頂きます」と答えた。

翌日の朝を迎えた。不思議なことに子供の病気はすっかり癒ってしまっていた。

る。

これには、流石に頑固な竹田氏も驚いてしまった。反対どころか、約束通り、しかも喜び勇んで団参列車の人となったのである。

(みちのとも 昭和六年)

てびき

病み患(まわ)いも神の手引きや、神は身上より引き寄せる。外に道はない。「話を聞けとの身のさはり」とある通り、神は手引きをして話を聞かそうと思うてござる。病んだり貧乏するのは、神様が人を助ける力を造っていただくさるのや。

(山田伊八郎 講話)

好評につき第2弾！
2月10日発行

お道の人の
とっておきの話2

朝席・夕席に最適です



四六判・208頁 1,155円(税込)

図書出版 **養徳社**
 電話00980-3-17694 (0743)62-4503
 養徳社 検索 http://yotokusha.com/



天理大学国際交流部にて(3月3日撮影)

「陽気」創刊60年記念出版

人生二終なし
 じんせいにおわりなし

—父 柏木庫治を語る—

- 三人の兄妹によるてい談
- 「陽気」掲載記事
- 柏木庫治小伝

定価=1,260円(税込) 送料200円

大好評！ 再版出来！
 「陽気」読者講演会CD

笑い与健康

「笑い」は糖尿病患者の血糖値まで下げるともに語る
 絶妙なユニモアと世界遺伝子

村上和雄 (筑波大学名誉教授)

1枚 定価1,260円(税込) 送料150円
 電話 0743-62-4503 養徳社 FAX 0743-63-8077

再版出来！
 「陽気」読者講演会CD

うつ病の早期発見 早期治療のコツ

命の“サイン”を見逃さず
 “治療”を勧めるために

菅原圭悟 (憩の家精神神経科 元部長)

(昨年4月 京都駅近くに菅原クリニックを開院)

1枚 定価1,260円(税込) 送料150円
 電話 0743-62-4503 養徳社 FAX 0743-63-8077

養徳社 よもやま話

○……新刊『お道の人のとっておきの話2』ができた。

とっておきというだけあり、特別な思いのある両親や家族について書かれたものが多い。読んでいくうちに七年前に死別した母親、そして昨年の春に結婚した弟夫婦の姿が頭に浮かんだ。母は女手一つで私達を育てた後、教会へ単身ふせこんだ。苦労の中を笑顔で通り、人のために尽くす姿に私は理解し難い時もあったが、後に私達兄弟に対する愛情からの種まきであり、教会との絆や人とのつながりの大切さを教えられた。

母がわが家の因縁切替えを願ってくれたお陰で私の心は救われ、今の結構な姿に繋がっている。更に弟夫婦には子供の誕生が間近で家族が増える喜びに幸せが満ち溢れている。

社会では単身生活者が増え、今までにない新たな問題が発生している。家族への思いを引き出してくれる、この本を読んで頂く事で胸を温かくし世に映すきっかけとなるよう願った。

この「陽気だより」を各支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。

養徳社